

会 議 議 事 録

1 会議名	令和6年度第4回長岡市公立大学法人評価委員会
2 開催日時	令和7年2月6日(木)午前10時30分から午前11時30分まで
3 開催場所	アオーレ長岡東棟3階 301会議室
4 出席者名	(委 員) 三上委員長 水澤委員 草間委員 並木委員 (説明のために出席した関係者) 公立大学法人長岡造形大学 佐々木理事長 公立大学法人長岡造形大学 平山学長 公立大学法人長岡造形大学 安達副理事長 公立大学法人長岡造形大学 久島事務局長 公立大学法人長岡造形大学 佐藤財務課長・経営企画室長 公立大学法人長岡造形大学 三重堀経営企画室係長 (事務局) 長岡市地方創生推進部 長谷川部長 長岡市地方創生推進部 斉藤副参事 長岡市政策企画課 五十嵐課長 長岡市政策企画課 早川課長補佐 長岡市政策企画課 相川係長 長岡市政策企画課 浅野主査
5 欠席者名	槇委員
6 議事	(1) 中期目標期間終了時の検討について (2) 第3期中期目標の策定について (3) 役員報酬規程の改正について
7 審議結果の概要	議事(1)は長岡市が行う「法人業務継続の検討案」などについて、委員から意見を聴取し、了解を得た。

	議事（２）第３期中期目標骨子案について、各委員から発言があり、今後の素案づくりに反映させることとなった。 議事（３）役員報酬の改正について、委員から意見はなかった。
８ 審議の内容	
事務局・政策企画課課長補佐	本日は、お忙しいところお集まりいただき、誠にありがとうございます。 これより令和６年度第４回長岡市公立大学法人評価委員会を開催いたします。はじめに長谷川地方創生推進部長より御挨拶申し上げます。
事務局・地方創生推進部長	（部長挨拶）
事務局・政策企画課課長補佐	本日の評価委員会は、委員４名が出席されておりますので、長岡市公立大学法人評価委員会条例第５条第３項の規定を満たしていることを御報告いたします。なお、このたびの評価委員会は、長岡造形大学の佐々木理事長、平山学長、安達副理事長、久島事務局長ほか大学事務局職員から御出席いただいております。
事務局・政策企画課課長補佐	それでは、議事の進行を三上委員長にお願いしたいと思います。三上委員長、よろしく願いいたします。
委員長	それでは、進行を務めさせていただきます。 議事を進める前に、今回の評価委員会の議事録署名人を決めたいと思います。水澤委員、草間委員のお二人にお願いしたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。 （水澤委員、草間委員 了解）
委員長	それでは議事に入りたいと思います。今回の議事は３件です。１件目は長岡市が行う「法人業務継続の検討」などに対して、委員の御意見を伺うものです。２件目は次期中期目標骨子案について、事務局からの説明の後、各委員の御意見を伺います。３件目は法人の役員報酬規程の改正について御意見を伺います。 それでは、議事（１）について、事務局及び大学から御説明お願い

	します。 (資料 1 - 1 により説明) (資料 1 - 2 により説明) ありがとうございました。 議事 (1) について説明していただきました。 委員の皆様から御質問等がありましたらお願いします。 認証評価機関による評価は何年に 1 回ですか。 7 年に 1 回ですが、今後は中間評価を求められる可能性があります。 中期目標期間は 6 年間で、認証評価の期間とは合わないのですね。 優れた点として、学生生活実態調査を長期的に実施されているということで評価されておりますが、これは一般的に他大学でも行われているものでしょうか、それとも独自の取組ということになるのでしょうか。 他大学も行っていると思いますが、本学は 2 年に 1 回実施しており、学生生活 4 年間で 2 回調査の機会があります。自由記載に対しては、一つひとつお答えしております。 教育的な観点で、個々の学生さんの状況を把握されると思います。生活実態と言いますといわゆる学生生活、様々な経済状況がある中で、その状況までを視野に入れているのではないかと思います。そういった内容ということで理解してよろしいですか。 そのとおりです。 調査項目は全般的なことですが、自由記載には様々な意見があります。本学は学生がしっかり帰って寝るようにということや実験等があまりないこと、また経費の面もありキャンパスを 24 時間の開放にはしていませんが、24 時間開放のキャンパスにしてほしいというこ
事務局・政策企画課長	
学長	
委員長	
委員長	
学長	
委員長	
委員	
学長	
委員	
学長	

	となど、学生からはいろいろな要望があります。また、画材を安くしてほしいなどありますが、対応できる点是对应する、対応できない点はこのような理由で対応できないということをお答えしております。
委員	非常に手間がかかることではありますが、全国から受験し、長岡で最低4年間は過ごすという中で、大学が学生の声に耳を傾けるということは大事なことだと思います。それが優れた点として評価されているということで、今後も継続していただきたいと思います。
委員長	生活の経済的基盤やアルバイトの状況などもきめ細やかに調査されて、学生に対する様々な対策を実施されているというところで、評価されているのではないかと思います。
委員	一般財団法人大学教育質保証・評価センターが、いくつかある認証評価機関の一つというお話でしたが、認証評価機関はたくさんあるのでしょうか。
学長	五つあります。本学は大学教育質保証・評価センターという公立大学協会が主体となり設立した機関で受審しています。学校法人の時代は別の機関で受審しておりました。全国に公立大学法人が100余りあり、公立大学法人と私学、国立では性格が違いますので、本学としては公立大学協会が設立した機関にお願いしています。
委員	民間でも様々な評価機関があります。評価の細かさの違いや費用面のお話もあったと思いますが、大学が認証評価機関を選択することができるのでしょうか。
学長	できます。 五つの機関があり、評価の細かさには差異があるという状況で、文科省でも評価機関自身、評価の段階そのものを評価しないといけないのではないかなという流れになっていると聞いています。
委員	数ある認証評価機関の中でもより適正に厳しく評価してくれる機関を選定していて、このような評価になったと理解してよろしいですか。

学長	そのとおりです。
委員	これまでも当評価委員会で様々なお話を聞かせていただいた中で、地域や学生さんに寄り添っていただけていると感じており、それが評価の優れた点に現れていると思います。先ほど、毎年約 3,000 人、長岡市では人口が減少しているというお話もありましたが、そのような厳しい状況で市外から学生さんに来ていただいているということは非常に大事なことだと思いますので、これから中期目標・計画を立てるときも、よりそこを大切に考えていただけると良いと思います。
委員長	大学の認証評価機関の選定においては、公立大学は評価センターに依頼することが多く、国立大学や私立大学からの依頼が多い機関もそれぞれ別にあります。 今後、専門職大学を専門とする評価機関を作ろうかという話もあるそうですが、評価機関としての適格性を審査する必要もあり、時間がかかるようです。
委員長	先日の新聞で、新潟県の転出入の人口増減について掲載がありました。県の数字として発表されていましたが、市町村別のデータもありますか。例えば、長岡市は市内に大学がこれだけありますので、若年層の転入が多いのかなと思いますがいかがですか。
事務局・政策企画課長	元データは市町村から集めたものですので、各市町村ごとに年代別のデータがあります。残念ながら長岡市も、若い世代の転出が多く、特に若い女性の方が多く転出しております。
委員長	長岡造形大学もこれだけ県外から入学していますし、他大学もありますので、県内において他の市町村よりは、転入数が多いと思っていました。大学の評価とは直接関係ない話かもしれませんが、市内に大学が存在することによって、地域の人口社会増にポジティブな影響があるということは、皆さんが共通認識として持てたら良いと思います。もしそのようなデータがあれば教えてください。
事務局・政策企画課長	長岡市の人口減少約 3,000 人のうち、600 人ほどが社会減であり、転入よりも転出が上回っているという状況です。 転出超過の約 600 人が、学業、就職、結婚などで市外に流出している状況です。あとは自然減が 2,400 人ほどで生まれる方より亡くな

	る方の方が多くなっている状況です。
委員長	若年層のうち 18 歳ぐらいの世代は転入していて、20 歳を超えると流出していく様子なのではないでしょうか。
委員	今の話に関連して、長岡市での社会減は年間 600 人くらいですか。
事務局・政策企画課長	そのとおりです。
委員	約 3,000 人の人口減の内訳として、自然減と社会減の要素があり、社会減が約 600 人。600 人だったらもう少し対策を頑張ろうと思えますか。
事務局・政策企画課長	転出入を均衡させるような施策を進めたいと考えています。
委員	少しずつでも改善していく可能性はありますね。
委員長	年齢別区分別の社会増減のデータがありましたら、今後、提示してください。
委員	「キャンパスまるごとデザインの教材」は、大変魅力的であると感じています。学生から特に好評な取組を教えてください。
学長	特に学生たちから好評な取組は、学食のサブスクリプションサービスで、昼夜の 1 日 2 食で月額 2 万 4,000 円です。特に 1、2 年生は多くが利用して、必然的に毎日大学に来るようになり、友人と食事を摂っています。これまでは近隣のスーパーの利用も多かったですが、安定的な食事を摂った上で授業や生活に馴染み、大学に滞留する時間が長くなっているのも良い方向に進んでいると思います。
委員	「食」は非常に大事なので素晴らしい取組だと思います。それをきっかけとして友人が増えたり、大学に滞留する時間が長くなったりと良い影響が広がると思います。
理事長	今の「キャンパスまるごとデザインの教材」に関連して、大学の広

	い敷地にある建物なり、庭なりの配置そのものが教材になっていると考えております。また、建物そのもののデザイン性も生きた教材になっていると思います。構内を歩いていますと、ヴィンテージの有名な椅子が置いてありまして、座ることもできます。私も最初は非常に驚きました。そのほか、大学の廊下がギャラリーになっており、常に学生の作品が何らか展示されております。これらの取組が「キャンパスまるごとデザインの教材」を表わしていると感じております。
委員長	校地のデザイン自身が創造性を引き出しているということが素晴らしいとの評価だと思いました。
委員	長岡造形大学に設置されている椅子は面白いという話を私もずいぶん前に聞いていまして、行く度にそのとおりだなと感じています。何気なく座りたくなる気持ちや楽しさがあります。
委員	過去にエンジン 01 というイベントを開催した際、主催された作曲家の三枝成彰氏が、会場の一つとなった長岡造形大学を下見されたときに、こんなに良い校舎は他の大学では見たことがないというお話をいただきました。三枝さんは東京藝術大学の音楽学部のお出身でしたが、音楽、芸術、デザインにおいて、その発想は学生が置かれている環境から生まれてくるとおっしゃっていました。
委員長	ここで大学の皆さんには一時退席していただき、「項番 4 業務を継続させる必要性（案）」及び「項番 5 組織の在り方その他組織及び業務の全般にわたる検討について（案）」について、委員から御意見を伺います。 【長岡造形大学 一時退室】
委員長	「項番 4 業務を継続させる必要性（案）」及び「項番 5 組織の在り方その他組織及び業務の全般にわたる検討について（案）」の 2 項目につきまして、委員の皆様の御意見を聴取します。 皆さん、御意見いかがでしょうか。
委員長	これらの実績あるいは認証評価機関からの評価、評価委員会の評価を踏まえて、継続させてよろしいのかということですね。

委員	原案のとおり、継続でよろしいと思います。 (委員賛同)
委員長	それでは、評価委員会としては原案のとおりでよろしいということ でお答えをしたいと思います。よろしいですか。 (委員一同 異議なし)
委員長	それでは大学の皆さんの入室をお願いいたします。 【長岡造形大学 入室】
委員長	続いて、議事（２）について、事務局から御説明をお願いします。
事務局・政策企画 課長	(資料２－１及び２－２により説明)
委員長	今、御説明いただいた資料２－２を基に、評価委員からの意見を踏 まえて、設置者である市が中期目標を作るという理解でよろしいです か。
事務局・政策企画 課長	そのとおりです。
委員	質問ですが、第３期の方針の「トランスフォーメーションする意識 を持って取り組む」とはどういう意味ですか。まず「トランスフォー メーション」の意味は何か、また「意識を持って取り組む」というの がなんとなく漠然として、押しが弱いという気がします。その意図 するところを確認させてください。
事務局・政策企画 課長	長岡市では DX（デジタルトランスフォーメーション）というこ とで、変容、変質、変革に取り組んでいます。大学も、現状にとどまら ず、常に新しく変わらなければならない、現状維持にとどまらず、よ り良いもの、より高いもの、より良い教育を目指していくような意味 のトランスフォーメーション、変革を起こしていかなければならない

	という意味合いで使っています。
委員	そのうえでの意見としては、少し抽象的すぎるし、漠然としているのではないかと思います。今後、柱立て等で具体的に落とし込むということではあると思いますが、ぼんやりしていて、もう少し「意識を持って取り組む」というところを表現してはどうかという感想を持ちました。
委員長	この方針は、中期目標の中では前文に書かれますか。それとも方針という書き方になりますか。
事務局・政策企画課職員	前文の中に要素として取り込むものでして、実際に文章にする際には、もう少し言葉の工夫が必要と考えております。このまま書くというより、文章の中に溶け込ませていきます。
委員	方針5番目の「地域の発展に貢献する」については、今回の変更点として地域貢献から社会連携に変更となっています。地域貢献というような一方的なものからもう少し相互連携・相互作用、社会との対話などを推進するという変更趣旨であると思いますので、このような表現については、これから詰めて進めていくと良いと思います。
委員長	確かに、市民目線的にはトランスフォーメーションという言葉は抽象的だと感じます。
学長	トランスフォーメーションという言葉は、市長もキーワードとしておっしゃっていましたが、単に変わるという意味だけでなく、社会の変化に対応することが必要だという意味としても理解しております。人口減少自体そのものが、社会が変化することなので、組織も変容・変質・変革していかざるを得ないと理解しております。 大学が影響を受けるのは18歳人口ですが、10年後に確実に2割3割減る時期が来ます。その時まで指をくわえているのではなくて、大学そのものも変容変革して、より良い形にしていこうということを学内でも伝えております。本学として、第3期中期目標期間の6年間は、そのようなことが求められるのではないかと考えております。
委員長	トランスフォーメーションという言葉が使われるときは、社会全体がちよっと変わってくるようなニュアンスもあって、そういう背景が

委員長	わかるような表現があると良いと思います。 柱立てⅠの４番目の項目として、高大接続が書かれていることは素晴らしいと思います。高校生が進路を決める際に、必ずしも十分な情報を得て判断しているわけではないのではないかと思っています。 例えば、他大学では情報学部 of 学生募集で苦労していると聞いています。そもそも新潟県では高校の情報科目の専門の先生が少なく、数学や理科の先生が教える状況が多いと聞いています。今後、学生募集の観点からも、いくつかの高校と連携協定を締結して、高大連携の取組として探究学習に大学の教員が携わる取組を進めます。月に１回くらいのペースで一緒に指導しながら、生徒の視野を広げていきます。情報とアニメ、マンガの部門で実施予定です。アニメ、マンガは、デザインとも関係が深いと思います。 高校側からも、生徒の視野を広げて進路を見つける役に立ってほしいという声がありました。 長岡造形大学が県内高校とそういう取組をされれば、連携したい高校は多いのではないかと思います。県内学生の確保という意味からも、ぜひここは充実した取組にしていただきたいと思います。 これは、大学の教員からは抵抗もあるかもしれませんが、入学後の手当よりも前にやっておくべき、客観的に見ると非常に重要なことだと思いますのでぜひ先進的な取組を実施していただきたいと思います。
委員	第２期のときは五つの分類でしたが、今回は「教育研究、社会連携」と「業務運営」の大きく二つに分類されました。やはりこのように分けた方が、今までよりすっきりするという意味合いで分類されたということでしょうか。
事務局・政策企画課職員	そのとおりです。現行の目標では分類を細かく分けていたために、年度評価においても、分野をまたがるような取組は再掲として何度も記載しておりました。
委員	評価書の中で再掲が多いと感じており、集約出来たら良いと思っていました。分野がまたがる取組は重要項目であったり、重点的に取り組んでいるものだとして理解しておりますが、何度も同じ評価項目が出てくるので、少し見づらいと思っていました。 今回変更することで、よりすっきりとして、評価委員会でも正確に

委員長	的確に判断させていただけるのかと思います。評価する私たちにとっても、大学や市にとっても良い取組なのではないかと思いました。 また、これまでの評価を踏まえて、「想定している主な取組み」の中にこれから具体的に記載されていくと思いますが、これまで出た意見や課題も含めて記載いただいて、より良い形で進めていただけると良いと思います。 方針の中に「世界を視野に入れた」とありますが、柱立ての各論の中での見え方が少し弱いかと思います。「グローバル」は出てきますが、この「世界を視野に入れた」ということは、何を意味しているのでしょうか。留学生確保の問題でしょうか。外に向かって行くという面もありますし、どういうふうに具体化していくのか、柱立ての中にも見えると良いと思います。 他大学の話ですが、新潟市をマンガの街、アニメの街として盛り立て、映画祭やサマースクールで留学生を呼び込んでいます。やはり日本のアニメやマンガの吸引力は強くて、非常に多くの参加者が集まっています。デザインも近い領域だと思いますし、まして全国から入学者が集まる長岡造形大学であれば、呼び込むポテンシャルがあると思います。イベントに限ったことではありませんが、アジアの人材を吸引するようなプログラムがあると面白いと思います。今の長岡造形大学の留学生比率はどのくらいですか。
学長	非常に少ないです。
委員長	様々な人種が集まるということは、創造性を育てるという意味でも非常に効果が大きいとされていて、その意味合いを込めて、グローバル人材というところはぜひ努力していただきたいと思います。
委員	世界を視野に入れた教育研究や、様々な面における世界への発信、あるいは海外での活躍などを私はイメージしていますが、こういうところで世界に発信できたらいいなとか、特に考えていらっしゃるころはありますか。 今、日本文化が伝承しづらくなっている中ですが、着物で使われているような日本の古典柄などは、非常に素敵だと思います。既に長岡造形大学でも取り組んでいるとは思いますが、そういう日本の古典柄などを取り入れて新しいデザインを作るとか、他の日本の伝統文化も大切にして、それを活用したデザインを世界に発信するとか、それが時

	代に合ったデザインになっていくとか。他大学でも実施しているのかもしれませんが、日本文化を大切にしていることがわかる取組があると嬉しいです。その時代に合ったものによって変わっていきながら、これは日本ならではのデザインであるということが時代を超えて生き続けるということがあると良いと思っています。
委員長	伝統的な日本の価値観や美意識と、現代の表現に接続する形であると思います。 オスカー賞に学生部門がありますが、昨年は日本人が優勝しました。折り紙をＣＧで表現する５分程度のアニメーションを、東京のデジタルハリウッド大学の卒業生が作られたそうです。そういう事例は本当に励まされます。折り紙の和風なイメージを完全にコンピュータで表現されているということで素晴らしいものでした。
委員	例えば、青海波。お祝いの席で使われますけど、模様の意味を理解していたら、なぜお祝いの席で使われているか理解できる。しかし、意味を知らなければ何故使われているかわからないかもしれない。和服の柄はデザインの宝庫ですから、長岡造形大学だからこそ、それらを活かすような取組ができるのではないかと期待しています。
委員長	今、ＳＴＥＭ教育、いわゆるサイエンス・テクノロジー・エンジニアリング＆マスマティクスが、ＳＴＥＡＭになりアートが入っている。技術だけでは不足し、アートとかデザインの要素が入らないとモノは完成しないということで、ＳＴＥＭ教育からＳＴＥＡＭ教育になりました。長岡市には長岡造形大学をはじめ、ＳＴＥＡＭ教育に関する教育機関が４校ある、恵まれた環境だと思います。社会連携や地域連携、あるいは長岡の地域発展などの様々な文脈で、ＳＴＥＡＭ教育も一つキーワードになるのではないのでしょうか。ＳＴＥＡＭという言葉でなくとも、ＮａＤｅＣなど、エンジニアリング・サイエンス・テクノロジーとアートの結合を地域の連携で生み出すようなイメージがあると、ものすごく長岡らしいなと思います。
委員	今回の柱立ては、教育研究、社会連携という大きな柱の１本の中に４つの項目があり、業務運営は切り離した形で大きく分けている。そのなかで項目Ⅰの３、４は学生に照準を合わせて目立つ形で打ち出すということで、第２期のカテゴリーとは視点を変えています。柱立ての中で学生に主眼をおくということを目立たせたと理解しており、私

	個人としては非常に望ましいというか、新しい打ち出し方だと感じました。 第2期の柱立てよりも非常にわかりやすく明確で、対外的に学生の募集に力を入れる、またそのための活動を充実させることをアピールできています。これは非常に大きなトランスフォーメーションになっていく可能性があると思いましたが、そういう意図と理解してよろしいですか。非常に良い方向だと私は思います。
事務局・政策企画課長	委員がおっしゃったように、第2期をベースとしつつ、トランスフォーメーション、変容、変質、変革を進める意図です。先ほど学長もおっしゃったように、今後の少子化を見据えながら、大学も変わっていかねばならないということで、委員がおっしゃったように学生本位を改めて強調するものです。
委員	非常に、良い方向だということで意見させていただきます。
委員長	大学ランキング17位ほどに定着している他大学の状況として、評価のなかで点数を稼いでるのは国際化です。その大学は学部生の留学生比率が高いです。その他の大学では、大学院の留学生比率は5割超えていますが、学部はおそらく1、2%程度です。学部の教育プログラムは概ね日本語で行うので、あまり留学生比率に力を入れていないようです。しかし、その大学は学部からどんどん留学生を入れるという取組を実施しているので、学部の留学生比率も20%近いです。これは日本中であまりないと思います。 これからの少子化のことを考えたときに、留学生をどう増やしていくかということは、デザインの分野でも重要だと思います。先ほどのグローバル化というところで取り組んではどうかと思います。 他に御意見はありますか。 (意見なし) それでは、今の議論をもとに事務局で素案の作成を進めてください。 続きまして、議事3役員報酬規程の改正につきまして事務局から説明をお願いします。

事務局・政策企画 課長	(資料 2 を基に説明)
委員長	説明ありがとうございます。 委員の皆様から御意見がありましたらお願いします。 (意見なし)
委員長	意見等ないようですので、本日予定していた議事は以上となります。 進行にご協力いただき、ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。
事務局・政策企画 課課長補佐	三上委員長ありがとうございました。 次第 3、その他としまして事務局からご連絡いたします。
事務局・政策企画 課長	次回、令和 7 年度第 1 回の評価委員会は、先ほどご案内申し上げたとおり 4 月に開催予定でございます。議題として、第 3 期中期目標素案をご審議いただきます。 詳細については、改めて日程調整させていただいた上で、早めにご連絡をさせていただきます。
事務局・政策企画 課課長補佐	他に、御出席の皆さんの方からございますでしょうか。
学長	2 月 8 日土曜日から 11 日火曜日まで、本学の卒業・修了研究展を開催いたします。第 4 アトリエ棟も完成し、広くなった「キャンパスまるごとデザインの教材」をご覧ください。今までよりパンフレットのボリュームも増やし、学生がどうやって作ったものなのか、どのように見ていただきたいのかということをご説明させていただいてますので、ぜひパンフレットをご覧になった上で、お越しいただければと思います。
事務局・政策企画 課課長補佐	それでは、これで「令和 6 年度第 4 回長岡市公立大学法人評価委員会」を終了いたします。 ありがとうございました。

上記議事録は、その記載内容が事実と相違ないことを確認し、ここに署名する。

委 員

委 員

9 会議資料

- 次第・出席者名簿
- 資料 1－1 中期目標期間終了時の検討について
- 資料 1－2 一般財団法人大学教育質保証・評価センター認証評価結果の概要
- 資料 2－1 第3期中期目標の策定について
- 資料 2－2 第3期中期目標骨子案
- 資料 3 役員報酬規程の改正について
- その他 長岡造形大学第2期中期目標
2022 年度実施 大学機関別認証 評価報告書(長岡造形大学)